

科学・技術駆動型イノベーションに向けて ～ 機械工学コミュニティからの発信 ～

日時 2010 年6月25日(金) 13:30-17:30

会場 日本学術会議講堂

(東京都港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅から徒歩 3 分)

主催 日本学術会議機械工学委員会

共催 機械系関連学協会 (幹事学会 自動車技術会)

可視化情報学会, 空気調和・衛生工学会, 自動車技術会, 精密工学会, ターボ機械協会, 日本音響学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本計算工学会, 日本原子力学会, 日本航空宇宙学会, 日本材料学会, 日本船舶海洋工学会, 日本塑性加工学会, 日本伝熱学会, 日本トライボロジー学会, 日本燃焼学会, 日本熱物性学会, 日本ばね学会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本冷凍空調学会, 日本流体力学学会、計測自動制御学会(協賛)

21 世紀の機械工学のミッションは, 科学の共通課題「社会のための科学・技術」への貢献であり, 特に, 「人と社会を支える機械工学」として, 環境制約, 資源制約の下で, 安心安全で豊かさの感じられる持続的な社会を構築するための具体的な方策を呈示することである. すなわち, あらゆる生産・消費活動において, 低炭素化に向かう道筋を誘導せねばならず, また他の学術分野と広く協働して, 目に見える具体的成果を生み出していく責務がある. グリーンイノベーション, ライフイノベーションを達成し, 新たな産業を発展させ, 国際社会へ我が国の優れた製品や知識を提供できるようにすることが, 活力ある知識基盤社会を我が国に実現するための方法である. こうした科学・技術駆動型イノベーションの創出において, 機械工学の学術的, 技術的な貢献が, そして機械工学の人材の活躍が極めて重要である. このような認識のもと, 本シンポジウムでは, 機械工学コミュニティから社会へ向けて, 今後の基礎研究, 応用研究の在り方について発信を試みるものである.

プログラム

開会の挨拶 (13:30-13:40) 笠木 伸英 (日本学術会議機械工学委員会委員長・東京大学)

基調講演 (13:40-14:20)

「社会的期待に応える科学技術研究に向けて」

吉川 弘之 (科学技術振興機構 研究開発研究センター長)

報告 (14:20-14:40)

「機械工学の展望 2010」 笠木 伸英 (日本学術会議機械工学委員会委員長・東京大学)

講演 (14:40-16:00)

「環境・エネルギー問題への提言」 圓山 重直 (日本伝熱学会・東北大学)

「ものづくり技術への提言」 帯川 利之 (精密工学会・東京大学)

「モビリティ社会への提言」 永井 正夫 (自動車技術会・東京農工大学)

「豊かな生活への提言」 原 利昭 (日本機械学会・新潟大学)

パネルディスカッション(16:10-17:20)

(モデレーター)

岸本喜久雄 (日本学術会議会員・東京工業大学)

(パネリスト)

上野 明 (日本材料学会・立命館大学)

鈴木 真二 (日本航空宇宙学会・東京大学)

出口 俊一 (デジタルニューディール研究所・東京農工大学)

提言の講演者

閉会の挨拶(17:20-17:30)

岸本 喜久雄 (自動車技術会・東京工業大学)

参加費 無料

お問合せ (幹事学会) 自動車技術会 技術・教育・表彰グループ

Tel : 03-3262-8214 Fax : 03-3261-2204 E-mail : tech@jsae.or.jp